
子どもが中心の地域による取り組み

レグジョナラ2023に参加して

大野 雄子

Local Initiatives Centered on Children

Participating in “reggionarra2023”

Yuko OHNO

キーワード：レグジョ・エミリア・アプローチ、幼児教育、ことば、地域連携、創造性

レグジョ・エミリア市は、市の学校・保育所とレグジョ・チルドレンにより、5月にレグジョナラという語りの祭典が行われる。市内の様々な公共施設が解放され、絵本の読み聞かせや、素話、演劇、ワークショップのための空間となる。本稿は、レグジョナラ2023に参加した記録として、その規模や地域をあげて取り組む原動力、指導者や場の提供、子どもが中心となるべく一貫した理念などについてまとめた。

1 はじめに

2023年5月26日～28日にレグジョ・エミリア市において語りの祭典「レグジョナラ2023」が開催された。筆者は、NPO法人子どもARTプラットフォームが主催する「レグジョ・エミリア現地研修（5/25～5/31）」に参加した。

レグジョ市には、市立の乳幼児施設の他、私立提携園、国公立の園、教会系の園、私立の園が運営されている。その中で私立提携の乳児施設であるジュリア・マラモッティ園やコレイア、教会系乳幼児施設のエリザラーリ、幼小連携施設であるSEI（Spazio 6 Impastato）を視察する他、約200社の大中小の企業との提携により、廃材を集め、乳幼児施設や福祉施設に無償で提供するクリエイティブ・リサイクルセンター「レグジョ・エミリアREMIDA（レミダ）」、ローリス・マラグッツィ国際センター、隣接されているドキュメンテーションセンターを視察した。

5/26は、レグジョナラのプレイベントとして、子どもたちによるドラゴンのパレードがあるという。町を歩く子どもも大人も青色や空色の服や小物を身に着け、観光客である筆者らにも青色の服、空色のドレスを身に着けることが案内された。ファンタネージ広場からプランボリーニ広場に到着した空色のドラゴンパレードの子どもたちからは、自信に満ちた笑顔が輝いており、このように地域全体で行う子ども中心の祭典があることに深い興味を抱いた。

本稿は、町全体で取り組まれている語りの祭典レグジョナラ2023を中心その様子について研究ノートとしてまとめた。

2 レッジョ・エミリア市と幼児教育

レッジョ・エミリア市は、イタリア共和国エミリア＝ロマーニャ州にあるレッジョ・エミリア県の県都であり、州都ボローニャから列車で40分、ミラノマルペンサ国際空港からは2時間前後で到着する人口約17万人の都市である。レッジョ旧市街地は、古い城壁に囲まれたことから六角形をしており、16世紀、17世紀の建造物が建ち並び長い歴史を感じる地である。

レッジョ・チルドレン（2012）によれば、レッジョ・エミリアの幼児教育のルーツは、レジスタンス運動にあり、大戦後の1945年ナチスドイツが残っていた戦車や軍用トラックをスクラップにして売って「自分たちの学校」を築いたとされる。一人ひとりの市民が「一つひとつのブロック（煉瓦）」を焼いて手渡して学校をつくり、「一ブロック（区域）」ごとの学校をつくって市全体の学校づくりへと発展させていった。1991年に『News Week』誌により、レッジョ・エミリアのディアナ幼児学校が「世界で最も前衛的な学校」として紹介されるほど、レッジョ・エミリアの教育は、子どもと教師と親を主人公とする公共性と創造性に満ちた教育が実践されている。そこには、市の教育主事として幼児教育の改革を推進したローリス・マラグッツィ氏の功績が大きいといえる。

3 レッジョナラについて

レッジョナラとは、レッジョ・エミリア市の学校・保育所とレッジョ・チルドレンにより2006年に誕生した物語の芸術に特化した文化プロジェクトであり、レッジョ・アプローチとして知られる教育哲学を地域全体で推進するものである（regionarra2023のHPより）。ナラとは、「語り」のことをいい、「レッジョ語り」ともいわれている。地域をあげての語りの祭典により、市内の博物館、図書館、劇場、広場、公園、通りなどの公共施設が解放され、絵本の読み聞かせや、素話、演劇、ワークショップのための空間となる。演者や語り手は、プロの俳優、保護者、子どもたちである。

石井（2018）によると、レッジョナラの始まりは、1970年代、ローリス・マラグッツィの発案で市立の教育機関「ジャンニ・ロダリ」が設立されたことにはじまり、児童文学作家であるジャンニ・ロダリ氏が人形遣い師のマリアーノ・ドルチ氏とともに言葉や表現、お話づくりの共同研



レッジョ旧市街 ポランポリーニ広場

究やシアターワークショップなどの活動も盛んに行われていた。その後パオラさん、ミレッラさんによって継承され、新体制になった「ジャンニ・ロダリ」では、教育関係者や保護者への養成講座やイベントの企画を行ったという。2005年、市のディレクターだったセルジョ・スパジャーリ氏の発案で、保護者が子どもたちのためにアートの語りを学ぶ講座が開催され、子どもの年齢に合わせた本の選び方や読むことと語りの違いを一年かけて学んだという。2006年、語りが上達した保護者の発表の場としてアンデルセン幼児学校とマラグッツィ国際センターにてブレ・レージョナラというイベントをはじめたのがきっかけとなっている。その後、保護者だけでなく市がプロの語り手を招くなどして発展してきたものである。

さらに、現在でも引き継がれている保護者のための養成講座は、市民に無償で提供され、市民はそのプレゼントを受け取り、半年間で学んだ語りの魅力をこのイベントでお返しするという文化が時を経て成熟し、現在では、市全体に大きな経済効果をもたらすようになっている（石井2018）。

4 レッジョナラ2023について

（1）主催・協力、芸術指導について

レッジョナラは、レッジョ・エミリア自治体、レッジョ・エミリア市立学校・保育園、パラッツォ・マグナーニ財団、レッジョ・チルドレン、レッジョ・チルドレン財団、イ・テアトリ財団、国立ダンス・アテルバレエ財団、レッジョ・エミリア高等音楽研究所・カステル・ノーヴォ・ネ・モンティ、ECR薬局、障壁のない町（ECR薬局の協力により作られた市のプロジェクト）が主催している。アイレンガスがスポンサーとなり、オープンラボラトリー、サンピエトロ寺院、レッジョ・エミリア観光協会の協力のもと実施している。また、開催時からオルサ劇場のモニカ・モリーニ氏の芸術指導のもと実施されている（レッジョナラ2023ホームページ参照）。

（2）公演の場となった公共施設等

レッジョ・エミリアの旧市街は、12世紀頃に造られたとされる六角形の城壁に囲まれた古さと新しさが共存した場所である。徒歩でも難なく移動ができることから公演が開催される場所は町全体にある。施設（ローリス・マラグッツィ国際センター、国立ダンス財団、視覚障害者のための地域研究所「ジュゼッペ・ガリパルティ」、小学校「G.ヴェルティ」など）、教会等（ギアラ回廊、聖ペテロ回廊）、広場（カソツィ広場、サン・ジョバンニ広場、フォンタネージ広場、プランポリーニ広場）、公園（サンタマリア公園、ポポロ公園）、博物館（トリコロール博物館、博物館の宮殿）、図書館（ホスピス図書館、パニッツィ図書館、ロスタヌオーヴァ図書館）、劇場（アリオスト劇場、ロモロヴァッリ劇場）、病院（サンタマリア大病院、赤十字委員会）など地域の公の場所は、その多くが市民のために開放されていた。プログラムの内容や場所については、その規模を知るために資料1に示した。

（3）レッジョナラ2023レポート

イベントを含めるとレッジョナラは7日間開催される。同時刻に多数の場所で開催されていたり、子どもが優先だったりするため、全てのレポートは難しいが、筆者が見ることができたものを紹介したい。

【お祭りパレード「偉大な優しいドラゴン」】

内容は、イタリアの児童文学作家、小説家のイタロ カルヴィーノ氏生誕100年にちなみ、彼の作品を元にした物語を、語り、演劇、ワークショップなど、様々な表現方法で創造的に演じられていた。テーマは、「le fiabe sono vere おとぎ話は真実だ」というイタロ カルヴィーノ氏の言葉によるものである。

レッジョナラの3日間の幕開けに子どもたちの手紙が詰められた卵と子どもたちが運ぶ青いドラゴンがファンタネージ広場を出発し、プランポリーニ広場に入場してきた。事前の案内に「青い服、空色の服を着て遊びに来てください」と書かれている通り、広場に集まる大人も子どもも青い服や持ち物を身につけている。子どもが運ぶドラゴンは、幼稚園や保育園の子どもの絵からデザインされ、レミダで製作されたという。

【マルコバレーノ（虹）】

この語りは、障壁のない町（CITTA SENZA BARRIERE）が主催しており、障害を抱える人たちも多く参加していた。マルコバレーノは、くじらや人魚の住む深い海に生まれた小さな赤ちゃん。次第に大きくなり、心の中に嵐が渦巻くようになると一人旅に出た。マルコバレーノの成長は、はじめはガラス瓶に入ったビー玉ほどの粘土が次第に転がりながら大きな粘土、提灯に変わるなど、素材の仕様により表現される。両親がマルコバレーノを探しに行くと、マルコバレーノは雲の中にある街にいる。観ている子どもたちを物語の中に引き込み、終了後に様々な素材を使い、子どもたちとお話を作るワークショップを開催していた。

【おとぎ話は真実です】

ポポロ公園には、大きなヒマラヤ杉がある。5組の異なる椅子が置かれていて、インスピレーションで選んでくださいという紹介がある。5組の語り手を人が囲んでもまだ余るほどの大きなヒマラヤスギがこの語りの舞台である。木の大きさは、長い年月が感じられ、街の歴史を見て来たという大きな存在感さえ感じられた。

語りの内容は、心優しいレナの父親と意地悪で怠け者のレオナの母親が再婚した。猫の言うとおりにガットマンモネのところへ行き家事を上手にこなすレナは額に大きな星と素敵なドレスを持ち帰るが、それを真似したレオナは、家事ができなかったため、額にロバの尻尾が生え、汚れて壊れた洋服を持ち帰るという物語であった。語り手は、レッジョ市内の保育園の保護者であり表情豊かに声の抑揚をつけ語られていた。また、座っている椅子は、園の椅子のプロジェクトを保護者が手伝い完成させた「ストーリーテリング・チェアー」として、語り手が座る椅子になっていた。その後には、子どもたちによる椅子の行進が街を賑やわせていた。

【ナレーションが重要になる】

博物館の宮殿で行われていたワークショップである。素材は触ってみると改めて違いを感じるものである。ざらざらした素材、ツルツルした素材、もこもこした素材と特徴は様々である。多くの素材の中から好きな素材を選び、切ったり貼ったりしながら、紐の上いくつかのモチーフを作り貼り付けていく。触ることによってわかる「暗闇の中で読む」物語を製作した。できあがったものは壁に飾り、目を閉じて触ってくださる方にストーリーを伝え合いながら語る場が持たれていた。

【ストーリーショップ】

模造紙に絵を描きながら進めて行く専門家による語りである。話は絵を描きながら強いもの比



お祭りパレード「偉大な優しいドラゴン」



ボポロ公園「おとぎ話は真実だ」



ストーリーテリング・チェアーの行進



「ナレーションが重要になる」ワークショップ



ストーリーショップ、ライブイラスト



トラよりも強いものを描くワークショップ

べをしていくという内容であり、怒っている気持ちを牛の絵で表現すると、一方ではトラの絵を描く、トラの絵を見て蛇の絵で対抗する、時折、子どもに尋ねて意見を取り入れていっていたと記憶している。ハゲタカ、死んだ馬の絵、消臭スプレー、バッファロー、怖いバッファローから自分を守るためにカウボーイになったり、船に乗ったりと全て絵により表現されていたが、最後にバッファローより強いものやトラより強いものを描くワークショップが行われ、子どもたちが楽しみながら参加する姿が見られた。模造紙に即興で絵を描き進めて行くのが、とても工夫された

手法だった。

【月が欲しい・運命が交錯する城】

二つの「語り」は専門家によるものである。「月が欲しい」の舞台はサンピエトロの回廊であり、歴史ある建物と月の光が差す屋外の広場での一人芝居が不思議な光景を創り上げていた。話の最後には、月と同じ色のボールが飛んでくるという演出があり、まるで月が落ちてきたように錯覚する場面もあった。

「運命が交錯する城」は、博物館の館内をつかつての演出で、自分の選んだタロットカードの列に並び、3つの語りを見て回るようになっていた。赤や青の光で語り手が浮き出るような演出や、館内を響く歌声が博物館の古代遺跡の展示をより神秘的に見せるなど、語りと場の一体感が工夫されているものだった。

5 感想と考察

(1) 子どもを中心とした街づくりに大切なこと

レジョナラ2023に参加して強い印象を受けたことは、街に幼児が多いことである。幼児が一市民としての権利を持ち自信に満ち溢れた表情、それ以上に語り手として発表をしている保護者の豊かな表情からレジョナラを心から楽しんでいるのが伝わってくる。高野・濱口（2020）によれば、レジョナラは、幼児期から小学校、中学校、高校、生涯学習として世代を繋ぐ表現の場であり、街中が表現の場となることで市民参画を促す取り組みである。保護者のための養成講座が市民に無償で提供され、市民はそのプレゼントを受け取り、半年間学んだ語りの魅力をこのイベントでお返しするというプレゼントの循環は、市にとっても、保護者にとっても、子どもにとってもメリットのある三方良しの循環であり街づくりに繋がっているのだ。そして筆者のような旅行者でも誰もが参加でき楽しめるのは、創造性や芸術性に富み、共同的に力を合わせて行っている所に学びや面白さを感じるからではないだろうか。今回本稿をまとめるに当たり、日本でも少しずつこのような取り組みが始まっていることを知ることができた。本学は学生が認定絵本士を取得するために絵本の読み聞かせなどを専門的に習得している。今後、レジョナラのように、少しでも街の人々と共に楽しめる活動に取り組んでいけるよう努力していきたい。

(2) 幼児教育とESDについて

森（2013）は、2001年に開催された「子どもたちの100の言葉展」に日本を訪れたレジョ市長や現場スタッフが、「二度と戦争は起こさない、起こさせない」「子どもが誰からも見えること、地域社会の発展のために乳幼児教育が不可欠」と公言したことにふれ、乳幼児教育が子どもの生活する時を大切にした実践であり、子ども時代に自分はかけがえのない存在として自己の価値・尊厳を認められた体験は、乳幼児教育を大切に継承していくバトンとして次世代に受け継がれESD（持続可能な開発のための教育）の具現化へと繋がっていることを述べている。現在の世界の情勢は、一方では子どもが戦争に巻き込まれ多くの命を失っている。ニュースを見るにつけ、自分自身が無力感にさいなまれる時があるが、私たちにできることは、子どもの人間形成を行う保育・教育を大切にしていくことや次世代が受け継ぎたいと思える取り組みを残していくことなのではないかと考える。

レジョ語りについて、佐藤（2011）は、「物語の語りは、意味を作り出し、新しいものに開

かれて、対話と関係づくりを開始し、まだ見ぬ世界に可能な形を与える方法です。私たちが物語やお話と呼ぶものは、子どもたちや大人たちが聴くことの好みや語ることの喜びを再発見し再生する助けとなります。物語やお話は、話され、書かれ、耳にした言葉に意味と魅力を取り戻してくれるのです」と述べている。大人と子どもがともに同じ語りを通して内面を共有し、言葉に意味を与えていくこと、とりわけ大人が全身全霊で行うレジョナラでの語りにおいては心の成長に大きな影響を与えるものであろう。子どもたちと共に周囲が育ち波及していくという文化はすばらしいものである。レジョナラは、子どもが中心の「地域による取り組み」ではあるが、周囲の大人達にとっても学びと成長の場なのだ。市全体で生涯学習社会の見事な循環が図られていることこそが市全体が活気に溢れる所以である。

小説家イタロ カルヴィーノ氏は、SF文学、幻想文学、児童文学の作家である。内容は、寓話的であったり、ファンタスティックであったり、ナンセンスであったりという内容が多く、ありえないファンタジーであるが、なぜか心に真実として残るのだ。語り手との場の共有からくるものなのか、演出なのか、語りの作用なのか、最後になり「おとぎ話は真実だ」というレジョナラ2023のテーマに立ち返り再び噛みしめている。

■引用・参考文献

- ・石井希代子「人を育て文化や町を創る市民参加型イベント『レミダデー』と『レジョナラ』」 発達156 ミネルヴァ書房 2018
- ・レジョ・チルドレン著 レジョ・エミリアの幼児教育実践記録 子どもたちの100の言葉 日東書院2012
- ・佐藤学監修 驚くべき学びの世界 レジョ・エミリアの幼児教育 ACCESS 2011
- ・高野・濱口 レジョ・エミリア市における芸術教育 「レジョ・ナラ」を中心に 山梨県立大学 人間福祉学部紀要 Vol. 15 2020

資料1 レジョナラ2023 プログラム

月日	演目	内容	場所	演者等
5/22	アプローチイベントードラゴンの瞳の中で	製作ワークショップ	ロスタ・ヌオーヴォ図書館	
5/23	アプローチイベントー竜の尾を踏みしめる騎士	ストーリーテリング	サンベレグリーノ図書館	専門家 障壁のない町
	アプローチイベントー特別訪問	ガイド付きツアーナレーション	ローリス・マラグッツィ国際センター	
5/24	アプローチイベントーBAUCIからZIGAZOUへ	ストーリーテリング	ローリス・マラグッツィ国際センター	障壁のない町 小学2年生
	アプローチイベントースクエア	ストーリーテリングとワークショップ	ローリス・マラグッツィ国際センター	赤十字ボランティア
	アプローチイベントーカテリーナの散歩	ストーリーテリング	ローリス・マラグッツィ国際センター	専門家
	アプローチイベントードラゴンが生まれるかもしれない	パレードに向けたワークショップ	物語の家	専門家
5/25	アプローチイベントー夕暮れ時の朗読会	ストーリーテリング	Gヴェルティ小学校 中庭	保護者
	アプローチイベントーいもむしのリノ	触る本『いもむしのリノ』を読み、様々なテクスチャーの芋虫の製作ワークショップ	ホスピス図書館	専門家
	アプローチイベントーみんなのマンション	人形芝居	VR33	障壁のない町
	アプローチイベントーテントの中の真実の物語	ナレーションとワークショップ	赤十字社レジョ・エミリア委員会	赤十字ボランティア
5/26	お祭りパレード「偉大な優しいドラゴン」青、青、空のドレス	音楽バンドによるパレード	ファンタネージ広場出発 ブランボリーニ広場到着	専門家
5/27	レジョ・エミリアワンダー	ロバの背中でガイド付きツアー	サン・ジョバンニ広場	専門家
	目に見えない劇場	クリエイティブワークショップ	ロモロヴァリ市立劇場	イ・テアトリ財団
	マルコバレーノ	ストーリーテリング	パニッツィ図書館	障壁のない町
	種子の一生	ストーリーテリング	サンビエトロの回廊	
	おとぎ話は真実だ	ストーリーテリング	ボボロ公園	保護者
	一緒に遊びましょう	音楽ワークショップ	サンビエトロの回廊	専門家

プレーシングのダイナミクス	インタラクティブパフォーマンス的な音楽インスタレーション	ブランボリーニ広場	専門家
3つの都市	ワークショップ	「ジュゼッペ・ガリバルディ」地域視覚障害者研究所	専門家
目に見えない劇場	クリエイティブワークショップ	ロモロヴァリ市立劇場	
ストーリーテリング～伝えることで教える～	ストーリーテリング、語彙活動、インタラクティブな教育用ビデオゲーム	パニッツィ図書館	
ディダール就任式	世界中の珍しい絵本を発見し、記帳で独創的なグラフィックからインスピレーションを受ける	博物館の宮殿	専門家
くま狩り	ストーリーテリング	アンティカボンタベストーリーオープン	
サイレントブックー不思議な物語	サイレントリーディング・手話	ワインバーあんま	障壁のない町
目に見えない劇場	クリエイティブワークショップ	ロモロヴァリ市立劇場	
マルコバレーノ	ストーリーテリング	パニッツィ図書館	障壁のない町
本の中で踊る	博物館の宮殿	専門家	
レージョ・エミリアワンダー	ロバの背中でガイド付きツアー	サン・ジョバンニ広場	専門家
おとぎ話は真実だ	ストーリーテリング	ボボロ公園	保護者
一緒に遊びましょう	音楽ワークショップ	サンビエトロの回廊	専門家
目に見えない劇場	クリエイティブワークショップ	ロモロヴァリ市立劇場	
ゴールに向かって団結する	ナレーション、軽食	トリコロル博物館	専門家
ストーリーテリング～伝えることで教える～	ストーリーテリング、語彙活動、インタラクティブな教育用ビデオゲーム	パニッツィ図書館	
くま狩り	ストーリーテリング	アンティカボンタベストーリーオープン	
目に見えない劇場	クリエイティブワークショップ	ロモロヴァリ市立劇場	
レージョ・エミリアワンダー	ロバの背中でガイド付きツアー	サン・ジョバンニ広場	専門家
贅沢な短調	ダンスショー	国立ダンス財団	専門家
目に見えない劇場	クリエイティブワークショップ	ロモロヴァリ市立劇場	
木にまつわる物語	小学生による巡回ストーリーテリングワークショップ	ボボロ公園	小学生
目に見えない劇場	クリエイティブワークショップ	ロモロヴァリ市立劇場	
ストーリーショップ	ナレーションとワークショップ	メリディアン336161	専門家
サイレントブックー不思議な物語	サイレントリーディング・手話	ワインバーあんま	障壁のない町
糸が軽く絡み合っています	ワークショップに関連したナレーション	カソッティ広場	オロロージョ文化空間チーム((市民))
目に見えない劇場	クリエイティブワークショップ	ロモロヴァリ市立劇場	
シードラボの生活	お話作り	サンビエトロの回廊	
サイニーの旅	ナレーションとワークショップ	アルシベダル.S.S..マリア	専門家
レージョ・エミリアワンダー	ロバの背中でガイド付きツアー	サン・ジョバンニ広場	専門家
翼	サイレントピエロショー	ボボロ公園	
ダンスの中の寓話	ワークショップ	サンビエトロの回廊	
小さな子どもたちのためのおとぎ話	ストーリーテリング	パニッツィ図書館	
目に見えない劇場	クリエイティブワークショップ	ロモロヴァリ市立劇場	
本の中のアート	就任式と円卓会議	博物館の宮殿	
プレーシングのダイナミクス	インタラクティブパフォーマンス的な音楽インスタレーション	ブランボリーニ広場	専門家
イ・テアトリ財団児童合唱団による小さなコンサート	コンサート	アリオストシアター	
上手に隠れたグレイハウンド	ワークショップ	パニッツィ図書館	
ストーリーショップ	ライブイラストとクリエイティブワークショップ	リディアン361	専門家
木にまつわる物語	巡回ストーリーテリングワークショップ	ボボロ公園	小学生
ヴァシリッサとバーバ・ヤーガ	ストーリーテリング	パニッツィ図書館	
贅沢な短調	ダンスショー	国立ダンス財団	

	レヅジョ・エミリアワンダー	ロバの背中でガイド付きツアー	サン・ジョバンニ広場	専門家
	糸が軽く絡み合っています	ワークショップに関連したナレーション	カソッティ広場	オロロージョ文化空間チーム((市民))
	翼	サイレントピエロショー	ボボロ公園	専門家
	運命が交錯する城	博物館の部屋を巡る巡回ショー	博物館の宮殿	専門家
	目に見えない劇場	クリエイティブワークショップ	ロモロヴァリ市立劇場	
	ズーサファリ	ストーリーテリング	バニッツィ図書館	
	月が欲しい	演劇ショー	サンビエトロの回廊	手話・専門家
	HAZー一時的自治地域	パフォーマンス	国立ダンス財団	
	ガンの魔法の森	演劇ショー	サンタマリアパーク	専門家
5/28	読書をするロバ:ローヌ川の物語	川沿いの自然をロバと一緒に散歩する巡回ショー	環境アニメーションファーム L'ASINO DELL'ARIOSTO	専門家
	ジョバンナの足跡を辿って	語り歩き	VR33	障壁のない町
	プレーシングのダイナミクス	インタラクティブパフォーマンス的な音楽インスタレーション	ブランボリーニ広場	専門家
	言葉の実験室	語り歩き	ギアラ回廊	障壁のない町
	サイニーの旅ー手話で	ストーリーテリング	サンビエトロの回廊	手話・専門家
	セイニー旅ー即興劇	ナレーションとワークショップ	アルシベダルSS..マリアヌオーヴァ	専門家
	カルヴィーノマラソン	生演奏付の朗読会	バニッツィ図書館	手話・専門家
	ストーリーテリング	ストーリーテリング、語彙活動、インタラクティブな教育用ビデオゲーム	バニッツィ図書館	
	ストーリーシアター	小さな劇場で演じるキャラクターを作るワークショップ	サンタマリアパーク	専門家
	サイレントブックー不思議な物語	サイレントリーディング・手話	ワインバーあんま	障壁のない町
	そして、もう降りることはありません	木の上からのショー	ボボロ公園	専門家
	ナレーションが重要になる	ワークショップ	博物館の宮殿	専門家
	写真のための本	ワークショップ	博物館の宮殿	専門家
	読書をするロバ:ローヌ川の物語	川沿いの自然をロバと一緒に散歩する巡回ショー	環境アニメーションファーム L'ASINO DELL'ARIOSTO	専門家
	数字を教えてください	イラストレーターや作家との対談	サンビエトロの回廊	専門家
	ストーリーテリング	ストーリーテリング、語彙活動、インタラクティブな教育用ビデオゲーム	バニッツィ図書館	
	写真のための本	ワークショップ	博物館の宮殿	専門家
	ナレーションが重要になる	ワークショップ	博物館の宮殿	専門家
	読書をするロバ:ローヌ川の物語	川沿いの自然をロバと一緒に散歩する巡回ショー	環境アニメーションファーム L'ASINO DELL'ARIOSTO	専門家
	一緒にお絵描きークリエイティブお絵描きワークショップ	ワークショップ	ギアラ回廊	
	写真のための本	ワークショップ	博物館の宮殿	専門家
	ナレーションが重要になる	ワークショップ	博物館の宮殿	専門家
	読書をするロバ:ローヌ川の物語	川沿いの自然をロバと一緒に散歩する巡回ショー	環境アニメーションファーム L'ASINO DELL'ARIOSTO	専門家
	ドラゴンを知っていますか	ストーリーテリング	バニッツィ図書館	赤十字ボランティア
	サイニーの旅ーポルトガル語	ストーリーテリング	サンビエトロの回廊	専門家
	プレーシングのダイナミクス	インタラクティブパフォーマンス的な音楽インスタレーション	ブランボリーニ広場	専門家
	サイレントブックー不思議な物語	サイレントリーディング	ワインバーあんま	手話・障壁のない町
	ストーリーテリング	英語による絵本のナレーション	青信号書店	
	そして、もう降りることはありません	木の上からのショー	ボボロ公園	専門家
	写真のための本	ワークショップ	博物館の宮殿	専門家
	ナレーションが重要になる	ワークショップ	博物館の宮殿	専門家
	チャンピオンと蚊	ストリートシアター	ブランボリーニ広場	
	写真のための本	ワークショップ	博物館の宮殿	専門家
	ナレーションが重要になる	ワークショップ	博物館の宮殿	専門家

サイニーの旅	ストーリーテリング	サンビエトロの回廊	専門家
読書をするロバ:ローヌ川の物語	川沿いの自然をロバと一緒に散歩する巡回ショー	環境アニメーションファーム L'ASINO DELL'ARISTO	専門家
ストーリーテリング	英語による絵本のナレーション	青信号書店	
フロロ	演劇ショー	サンビエトロの回廊	専門家
運命が交錯する城	博物館の部屋を巡る巡回ショー	博物館の宮殿	専門家

(出所) プログラムから筆者作成。